

◎R3年度 前期保護者アンケートより(御意見・御感想)

項目	保護者自由記述欄	学校より	
	挨拶運動はとても良いと思う。	<p>・昨年度からの幼小中一貫教育の実施にともない、幼稚園や中学校と情報交換を行い、子どものつまずきや不安を少なくし、児童が自己有用感を高められるよう取り組みを進めています。また、学校や学級担任の取り組みについて、御意見をいただきありがとうございます。いただいた御意見を参考に、必要な点は管理職から職員に指導を行い、改善すべき点を学校で共有し、今後も御家庭との連絡を大切にしながら、発達段階に応じた支援や指導を行っていきます。</p>	
	あはは活動をみんなが意識できるようになってほしい。		
	あいさつの強化。		
	子供には「あ・は・は活動」をするよう指導されているが、教師のあいさつができていないなど多々感じる。		
	授業参観、生徒達が静かだと感じる。快活な子供達の育成を家庭のみならず、学校生活においても必要なのではないかと感じる。		
	生活していく上での基本である整理整頓(学級文庫など)や、清掃をもっと積極的に行なってほしい。		
	クラスの人数は多いが、1人1人授業の内容をしっかりと理解しているのか気にかけてほしい。		
	人前で発表する機会を増やしてほしい。		
	子供が学級目標を知らない。係の仕事は話してくれるので学級のために働いているかと思う。質問を具体的にしてほしい。		
	乱暴な態度、言葉使いに違和感を感じる。		
	授業の進み具合を見直してほしい。		
	授業の進みが早く感じるようだ。		
	先生によって授業のペースにムラがある。あるクラスは遅くあるクラスは早い。早いペースに子供達はついていけるのか心配。遅すぎても周りとのギャップに不安に感じてしまうと思う。早く進んでる場合は、振り返りの時間を設けてはどうか。遅い場合はなぜ遅くなっているのか教えて欲しい。もし子供の理解力がという理由であれば、そのクラスだけでなく、他のクラスも同様なので復習プリントを配って欲しい。		
	お金を稼ぐ事や投資など、お金の授業があると、未来を生きていく生徒達の大きな力になると思う。		
	学習意欲が高い子も多いと感じているので、更にレベルの高い問題・勉強に挑戦できる機会があるといいかと思う。		
	教師が自分の意見、考えを押し付けず、色々な考えや色々な子供が居るので、押し付ける事なく柔軟的に教育してもらいたい。		
	生徒同士のいじめ等があった場合は見逃さないで注意や指導をお願いしたい。相手を思いやる気持ちを教えて、怒るのではなくしかってほしい。		
	読書をする機会を増やしてほしい。		
	トラブルが早く解決して子供が安心して登校できるような環境作りをお願いしたい。		
	室内が汚れていることが気になる。		
	体育館の入り口や、トイレの掃除は、定期的に行っているのか、疑問に思った。		
	小学生になってから、上靴が黒いままで持ち帰ってくる。毎日掃除をすることが出来ないのか。勉強も大事だが、毎日掃除することも大事だと思う。時間割りに入れてほしい。		
	幼稚園の時より上靴の汚れがあると感じる。掃除の回数を出来れば増やしてほしい。		
学校生活	参観会で体育館に入った時に埃・ゴミが多くて少し驚いた。体育館だけでは無く教室やトイレなど、教育的にも衛生的にも掃除は毎日した方が良いのではないかとと思う。	<p>・「あはは活動」は、本校で大切にしている活動です。1学期に山名っ子委員会の児童が中心となって「山名っ子 あはは 8か条」を作成しました。この8か条を意識しながら生活することで、山名小の合言葉「あ・は・は」が自然にできるようになるとよいと考えています。引き続き、2学期も委員会活動等での、子どもたちが考えたアイデアをもとに、「あはは活動」を推進していきます。また、教員が児童に手本を示すとともに、声掛けや指導を行っていきます。</p> <p>・子どもは集団生活の中で多くの友達や教師との関わりをもち、試行錯誤しながら人間関係を築いていきます。そのために、「さん」をつけて名前を呼ぶことや、丁寧な言葉遣いは有効な手立てであると考え取り組んでいます。しかし、御指摘いただいた点のように、児童との信頼関係を築くために大切なことは言葉遣い以外にも様々あります。今後も、気になることや心配なことがありましたら担任や学年主任まで御相談ください。また、連絡ノートも御活用ください。</p> <p>・学校生活は、授業の時間が多くを占めます。その時間が子どもや教師にとって充実した時間になるよう、ICTの活用を含めて各教科の教材研究に努めてまいります。今後も子どもの様子や発達段階、新型コロナウイルス感染症対策も念頭に検討してまいります。不明な点がありましたら担任まで御相談ください。</p> <p>・下校時刻を維持しながら、落ち着いて読書を行う時間の確保をするためには、掃除を週2回、昼休み後に行うことが現在考え得る最善の策です。年度当初には、学級清掃を行う中で清掃方法のガイダンスを含め指導を行っています。トイレ清掃については、清掃後の教師の見届けや失敗してしまった場合に教師に伝えること、普段のトイレの使い方を変えて確認してまいります。</p> <p>・GIGAスクール構想や新型コロナウイルス感染症への対策により、タブレットが児童1人につき1台が配付されました。まだ試行錯誤の段階ではありますが、職員も校内の研修を重ね、ICTを活用した授業や家庭学習を検討し、試行してまいります。また、ICTを活用した授業が増えている分、より健康や情報モラルに関する指導も大切にしたいと考えます。タブレットやクロームブックを持ち帰る際は、学校でも使用上のルールを確認してまいりますので、御家庭でもお声かけをお願いします。視力については、現在本校は市内で最も良いということがわかりました。環境整備や実態、健康面、個人差については、今後も考慮や配慮する必要がありますので、負担に感じることや気になることがありましたら担任まで御相談ください。</p>	
			トイレが汚いと思う。掃除も教育の一部ではないか。
			掃除の徹底をしてほしい。
			教育ではないのですが、トイレが汚くて行きたくないといつも言っている。
			清掃については毎年意見が出るようだが、変わらない。昨年度校長が朝会で「ウイルスはトイレに多い」というような話をされたあとすぐに、トイレのスリッパが廃止された。トイレの清掃が徹底されきれいになったからそうできるのかと思ったが、汚いまま。PTA会費を上げていので外注してきれいにしてほしい。
			タブレットの持ち帰りで壊さないかを心配している。
			タブレットを使用する機会に、操作等うまくいかない時、先生ひとりでは指導が行き届かない場面があり、気になった。
			パソコンやタブレットの授業終了後、目のストレッチ等の労りの時間があればいい。
			タブレットで勉強するよりノートに書いて勉強するほうがいいと子供が言っている。

タブレットをうまく用いて授業を行なって頂きたい。	果であれば2学期から実践に活かすための取り組みを考えます。もちろん、教員だけの理解では不十分なため、児童ども共通理解した上で取り組みを進めています。(挨拶、清掃等)すぐに結果と結びつかないこともあります。継続して支援、指導していくことが必要だと考えております。	
授業内容よりタブレット操作に夢中になってしまっている児童が多くいたように感じた。もう少しうまくタブレットを活用した授業になれば良いかと思う。		
可能であれば低学年からICTや英語に触れる機会を増やしていただきたい。		
給食当番を同じ役割で1ヶ月連続やるのは子どもたちにとって少し大変だなと感じる。		
入学してから3ヶ月、子供たちも学校生活に慣れてくる頃なので、例え1年生だとしても授業態度など何度注意しても改善しない場合はもっと厳しく叱っていただいてもいいと思う。		
給食の「残食ゼロ」を目指す活動が過剰ではないかと思う。子ども達が個人個人で「自分の体調と相談しながら、適切な量を食べる、見極める」という姿勢を身に付けることを優先すべきではないか。		
清掃については毎年意見が出るようだが、変わらない。昨年度校長が朝会で「ウイルスはトイレに多い」というような話をされたあとすぐに、トイレのスリッパが廃止された。トイレの清掃が徹底されきれいになったからそうできるのかと思ったが、汚いまま。PTA会費を上げていいので外注してきれいにしてほしい。		
毎年アンケートをやるが、教師の評価がいつも低いので、それを元に改善をしていかなければいけないと思うのだが、なにかこの結果を元に改善した点があれば教えていただきたい。		
子供の気持ちを豊かにするには、先ず教師が豊かに。そして子供を惹き付ける授業を望む。挨拶は学校を離れてからがスタートだと思う。		
友達や学校の物や他人の私物などもっと大切にしよう何度も話したほうが良いのではと思う。		
叱るところは叱る。褒めるだけが教育ではないと思う。ルールを守る事はみんな仲良くする為に大切な事だと思う。		
子供たちを信用し、話をしっかり聞いたり、納得いくように話をしたりしてほしい。		
担任の先生の子供に対する言葉使いがひどい。		
子供から聞いた話ですが、先生が怒って机を蹴ったと聞いた。叱るにしてもやりすぎではないか。		
担任の先生がよく怒るようで学校に行きたくないという。		
担任の先生と子供たちの関係がうまくいっていないようで心配している。子供たちと教師の間に信頼関係がなければ、どんな言葉も響かず、子供も素直に受け止められない。		
避難訓練について。市内の幼稚園では「減災教育普及協会」さんの講演などをもとに、「減災」という考え方を取り入れた訓練をしているようだ。災害時、先生に判断を丸投げするのではなく、一人一人が周りをよくみて素早く判断できるような学びに、小学校でも是非取り組んでほしい。	・今年度も、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症対策のため、何かと変更、御不便をおかけしてしまい申し訳ありません。昨年度も、新体力テストを始め、いくつかの取り組みが中止とせざるを得ない状況となりました。いまだ新型コロナウイルスの影響が大きく、流行以前の状態に戻ることは難しい状況です。考えられる様々な方法を工夫して、お子さんのがんばる姿を保護者の皆様に見ていただけるよう、今後も行事の取り組み方や精選を進めながら計画を立ててまいります。	
水泳大会や音楽発表会がなくなってしまいとても残念。	・5年生の観音山自然教室に関しては、学園内3小学校による今年度初めての取り組みとなりました。実施から分かった成果や課題を今後活かしていきたいと思えます。一方で、新型コロナウイルス感染症対策として施設の収容人数に制限が出たため、令和4年度は山名小学校のみでの実施となる予定です。	
コロナ禍でも十分に対策を取りつつ、色々な行事を行っていただけて感謝している。引き続き、その年代でしか経験出来ない行事は是非やってほしいと思う。		
まだ市内でもコロナが出ている中、参観会や資源回収など、行事が多すぎると思う。PTAは任意なのでやるかやらないかの選択をさせてほしい。		
体力テストの結果は教えてくれないのか。昨年度の記録も知らない。知りたい。		
コロナに気をつけようと言っているこの時期に今井と三川と一緒に宿泊訓練は安全面に欠ける気がする。泊まりの行事は週末に休めるように宿泊訓練は水曜から、修学旅行は木曜からにしてほしい。		
参観会だが、近隣の高校や中学が中止しているのに、時間を分散しているとはいえ小学校だけが開催しているのは違和感を感じる。		
コロナ禍なので、参観会など他の学校は中止の所もある中で、頻度を少なくした方が良いと思う。山名小は、いろいろな行事を強行突破し過ぎ。子供達の思い出も、もちろん大切だが、今の状況を考えて、保護者の意見をもっと聞いてほしい。		・避難訓練は、児童がいざというときにどのように自分の命を守るための行動をとればよいか学ぶ時間となります。訓練の前後で各担任からも指導を行っています。今年度は、3年生の煙体験で消防署の方に来ていただき、御指導をいただきました。今年度は、幼稚園と連携した引き取り訓練を実施しましたが、今後も効果のある取り組みを共有しながら各校で活かしてまいります。
コロナ禍でも参観会を分散型で実施して頂き、ありがたい。子供達の様子を目で見て把握できるため、安心できる。		
毎月のように参観会を実施して頂けるのは、学校生活を垣間見れてありがたい。一方で今現在、コロナ禍での環境を考慮すると、これだけの生徒や保護者が一度に集まるのは、最適とは言い難いのではないかと思います。		
縦割り行事があって、他学年とも交流出来るのがいいと思う。		
観音山に楽しく行って来ることができたことは、親としてうれしく思うが、山名小だけでも大人数な上に、今井小や三川小と一緒に来たことは、密を避けるべきであるこの時期に不適切ではないかと感じている。観音山に限らず、ちばな学園の連携を優先させるがために、無理な計画を進めることはないように願っている。		
行事が減り寂しく感じる。		

学校行事

家庭学習	今後家庭学習がノートではなくタブレットでの取り組みとなるが、先生対生徒のみとなり、保護者の関わりが希薄になるのではないかと懸念している。	<p>・保護者の皆様には、お忙しい中、山名っ子ノートに御協力いただきありがとうございます。この取り組みは、保護者の皆様にお子さんの学習の定着度を知っていただくとともに、お子さんと一緒に学習を進めることでつながりをより深めていただきたいという目的で10年ほど前からスタートしています。</p> <p>その結果、これまでの学力調査などから、山名っ子ノートの取り組みは着実に子どもの学習の積み上げにつながっており、全国学力・学習状況調査でも例年、市の平均を上回る結果として表れています。</p> <p>また、現在袋井市では、「自主学習」(家庭学習)を推奨しています。周南たちばな学園で作成したパンフレットにも明記されています。これまで進めてきた山名っ子ノートの取り組みは、変化の激しいこれからの社会を生き抜いていく児童にとって、必要不可欠な力となります。学年が上がってくるとともに自分で課題を見付け、学習する習慣が少しずつ身に付いていきます。</p> <p>しかし、御意見をいただいたように、保護者の皆様に御負担をおかけしています。今後は、1、2年生の児童でもノート作成ができるように、学校でも指導していきます。はじめのうちは思うように進めることができないかと思われれますので、支援や助言をお願いいたします。もちろん、これまでどおり、保護者の方がノートを作成していただいても構いません。御理解・御協力をお願いいたします。</p>
	山名っ子ノートは負担が大きいくと感じる。	
	山名っ子ノートをやめて文章問題のプリント等を出してほしい。	
	山名っ子ノートで問題を作るのに慣れていないので大変だが、保護者も見守る体制がとれていると思う。	
	山名っ子ノートを子供で書かせると字がとでも大きくなったり、スペースがたくさんあいていたりする。毎回同じような問題になっている為、書き取りと計下などで良いと思う。	
	山名っ子ノートだと、なかなか復習の偏りができるのでプリントなどの課題で復習できるようにしてほしい。	
	やまなっ子ノートが始まった経緯や、始めてからの変化など教えてほしい。	
	方針としては素晴らしいと思うが、山名っ子ノート作成の負担を軽減してほしい。	
	まだ1年や2年生では学習内容全て話してくれるわけではないので山名っ子ノート作りが同じようになり、働いてるのでまとめて作るがテストより範囲ずれてしまったりとなるのでテスト前の宿題はプリントを先生に作ってもらいたい。	
	山名っ子ノートの目的・意義が生徒・親にあまり浸透していない気がする。時間・労力が掛かる割に、効果がどれほどあるのか。家庭によって内容も様々で、それによる差が少なからず生じているとしたら、その意義に疑問を感じる。	
	宿題にあまり時間がかからないので、もう少し、土日に行く宿題を出していただきたい。昨年は読書の宿題が出たと、珍しく本を読んでいたのが嬉しく思った。授業もタブレットが多く、読んだり書いたりすることが減っている。	
	山名っ子ノートも、要らないと言う意見もある中で、なぜ今まで通りやるのか。意見を聞いている意味が無い。	
	宿題はプリント等を学年ごとに購入し、全員同じ物でいい。	
	山名っ子ノートの作成が、土日仕事の為、きつい。問題もプリント等で間違えていた所を中心に考えながら作るが、時間を掛けて作成されているお家と比べて、果たして子供にとってプラスになっているかも不安。子供の事をより把握する良い取り組みと思う反面、心配な気持ちもあるのが正直なところで、プリントやドリルにしていたけると助かり、安心である。	
	勉強に対する親の負担が大きいくと感じる。山名っ子ノートに関して大変苦労している。問題の構想をして作成、丸つけまで、週に1ページ位までならまだいいが、それ以上になると重く感じる。下の子が入学してからのことを考えるととても不安を感じる。	
親が問題を作らないといけな山名っ子ノートは負担が大きいくので廃止を希望。		
宿題をやっこないなど個人的に指導が必要だと思う生徒に対して、クラス全員の前で指導するのは意味があるのか。冷静な対応をお願いしたい。		
予定帳に書いてある宿題と実際に出された宿題の内容が違う日があり、確認する時に困る。		
その他	特に夏は習字セット、絵の具セット、宿題で使わない教科書等学校に置いて帰らせてもらいたい。	<p>・昨年度は、1学期末と2学期始めの2週間ほどを私服登校で試行しました。今年度は、通常通りの計画で進み、1学期が延長されることがなかったため、特に私服登校の期間を設けませんでした。現在は、エアコンを使用し、熱中症対策も含めた安全面に充分配慮して環境を整えております。あわせて、エアコンによる室温調整と新型コロナウイルス感染症対策による換気を両立させております。御意見や気になること、御心配な点等がありましたら、担任まで御相談ください。</p> <p>・今年度も昨年度と同様、登下校の荷物による児童の負担を軽減させるため、持ち帰る必要がないものは学校へ置いていくことを児童にも伝え、取り組みを進めております。ICT活用によるタブレットやクロームブックの持ち帰りも始まり、保護者の皆様にも御心配をおかけしたかと思えます。学校として、可能な限りの対応を進めるとともに発達段階に応じた声掛けや支援を心掛けてまいります。</p> <p>・携帯電話については、学校に申請書を提出していただくことで持ち込み可とします。お子さんと管理の仕方や使う場面を約束していただくようお願いいたします。</p> <p>・各学年でより分かり易い配付物を目指してまいります。また、保護者の皆様にお伝えしなければならない事柄については、直接児童を介してお伝えしたり、まちcomiや学校のホームページを活用したりしたいと思います。紙媒体で配布していたものをデータ化する取り組みを今後も継続してまいります。時代を反映した取り組みとして御理解、御協力をお願いいたします。</p>
	教科書等でランドセルがとでも重いので、少しでも学校に置いて帰らせてもらいたい。	
	教科書など荷物が多。家が遠い子供は特に、タブレットまで持ち帰るようになり子供の負担が増えて大変なように思う。	
	家が遠いので携帯電話を持たせたい。	
	水泳の授業のときに体調不良以外の理由で見学の場合でも、日陰にいさせてあげてほしい。プールサイドの日向は暑さが危険だと思う。学校全体で統一した指導をお願いしたい。	
	親の負担が大きいくと思う。奉仕作業や山名っ子ノートの作成や宿題の丸つけ、PTA役員の仕事。生徒数や先生や事務員が多いのだから草引きや掃除は学校内で出来ると思うし、山名っ子ノート分が他の学校より宿題が多い。夜まで両親共々働いている家庭もあるのだから親の負担を減らして欲しい。PTAの仕事もやり過ぎに感じる。	
	登下校中にボランティアの方がいてくれたらと思う。	
	毎年暑さが増している。今年も私服登校をさせたかった。昨年度、制服より涼しく過ごせていたように思う。	
	夏はブラウス、ワイシャツではなくポロシャツにしてほしい。	
	今後、二学期(9月)、猛暑が予想されるので、昨年度のような私服やリュック・横断バックでの登校も可にしていただけると安心。(タブレットの持ち帰りでさらにランドセルが重くなる。)	

準備物、持ち物など早めの連絡を希望。	<p>・児童が安定した学校生活を送ることができ、個性を活かした活動を尊重することができるようなよりよい環境づくりのためにも、今後も引き続き支援員の増員を要望したいと考えます。</p>
支援級も含め、補助の先生が増えるといい。	
生徒数に対して教職員の数が少ない様に思う。一クラスの人数も多すぎる。	
ふれあいセーフティの当番で朝の旗振りをしているが、挨拶をしても無視をする子どもが多く悲しくなる。	
親が関与しないといけないことが多すぎる。学校は保護者に気を遣いすぎ。過度な要求やモラルに反する言動をする保護者に対しては個別に対応するとして、先生にはあくまでも子供達を中心に活動していただきたい。	
お便りを紙でいただいているが、紙は希望者のみとし、マチコミへの添付ファイルでいただきたい。	
学校だよりの行事予定は、主体的に学校生活を送るため子ども本人が確認できるように紙面での配布をお願いしたい。	
配布物に関し説明が不足していると感じることがよくある。	
防災、減災、災害後の対処方法をシミュレーション方式での活動を推奨する。	
人数が多い分大変だとは思いますが、コロナ対策がまだ甘いように感じる。マスクの徹底、消毒など、気が緩むと怠りがちになる対策をもう少し徹底しないとあつという間に感染が拡大してしまうと思うので、まだ感染が広がっていない今、今一度徹底してほしい。	
資源回収など、感染のリスクがあるのに強制的に参加させられたくない。	
学年日より、学級日よりは早めに出してほしい。	